

# 令和 4 年度 沼津市自転車活用推進協議会

## 目標 2. 移動の利便性向上による自動車への過度な依存の低減

- 【 Do 】 目標達成に向けた令和 4 年度の具体的取組
- 【 Act 】 計画目標の達成に向けた令和 5 年度の取組
- 【 Check 】 計画の目標の達成状況とその考察

シェアサイクルポートの増設支援

目標2. 移動の利便性向上による自動車への過度な依存の低減

Ⅲ. 良好な都市環境の形成プロジェクト

17. 公共用地・民地・鉄道等へのシェアサイクルやレンタサイクルポートの設置検討

【内容】

- ・シェアサイクルの補助金要綱を制定し、沼津市内のシェアサイクル利用環境向上に資する設備の経費を一部補助。
- ・民地(東都大学)や都市公園(中央公園)、公共用地(市役所、大手町自転車駐輪場)へ新規ポート設置及び増設。

【見込まれる効果】

- ・大学生(東都大学)の通学やサークル活動の足としての利用。
- ・ポート拠点の充実を図ることにより、沼津市のみならず他市町からの交流人口の増加。
- ・市民の日常利用の増加。

【今後の展開】

- ・事業者とともに効果的な新規ポート設置箇所の検討。
- ・現在手薄である沼津駅北口側にポートの拡充。
- ・公共交通との連携の検証。



電動キックボードを活用した社会実験を実施

目標2. 移動の利便性向上による自動車への過度な依存の低減

Ⅳ. ヒト中心のまちづくり連携プロジェクト

23. 移動が楽しめる新たなモビリティツールの活用検討

【内容】

- ・対象エリア(沼津駅南口から沼津港にかけて)に7箇所のポートを設置し、電動キックボードのシェアサービスを提供
- ・国の特例措置のもと、ヘルメット着用任意での利用が可能。

【実績】

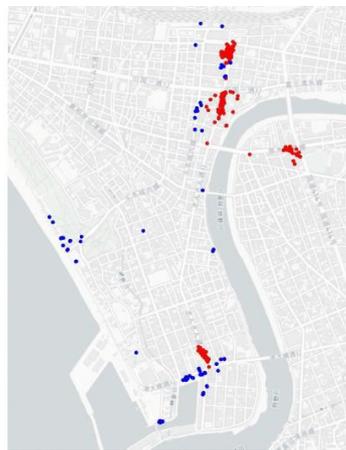
- ・利用者数は226名、利用回数は587回
- ・同様の社会実験を実施した他地域と比べ、利用回数は3.1倍、売上金額は4.2倍

【考察】

- ・短期間での実証にもかかわらず、他地域に対し多くの利用・売上があったことから、**対象エリアと電動キックボードの親和性の高さ**を認識することが出来た。
- ・車体のGPSデータより、沼津駅や沼津港を目的とした利用が多い一方、周辺の地域資源(千本浜公園周辺、びゅうお等)に立ち寄り利用も多くみられたことから、**市内の回遊性向上に寄与**したものと考えている。
- ・利用者へアンケートを実施したところ、約6割以上の利用者が移動そのものを魅力と捉えている一方、約3割以上が利用に際に危ないと感じたことから、**利便性の高い移動手段であるものの、安全面での課題を認識**する結果となった。

【今後の展開】

- ・今年7月の改正道路交通法の施行後を見据え、引き続き事業者と検討していく。



施策シート

目標2. 移動の利便性向上による自動車への過度な依存の低減

Ⅲ. 良好な都市環境の形成プロジェクト

措置	17. 公共用地・民地・鉄道駅等へのシェアサイクルやレンタサイクルポートの設置検討
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共用地を活用したシェアサイクルやレンタサイクルの設置を促進するため、公共施設の用地や都市再生特別措置法の占用特例を活用した、都市公園や道路上への設置を検討します。</li> <li>公共交通機関との連携を図るため、鉄道事業者等に駅周辺へのシェアサイクルやレンタサイクルポート設置について協力に関する働きかけを実施します。</li> </ul>
実施主体	市担当課：まちづくり政策課

R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



R4実績



沼津市役所  
(公共用地)



東都大学  
(民地)



中央公園  
(公共用地)

・令和4年度、シェアサイクル補助金交付要綱を定めたため、シェアサイクル運営事業者へポートの増設支援を行う予定である。

・また、公共用地については市役所の本庁舎や中央公園への新設、市営大手町自転車駐輪場へのポート増設を予定している。

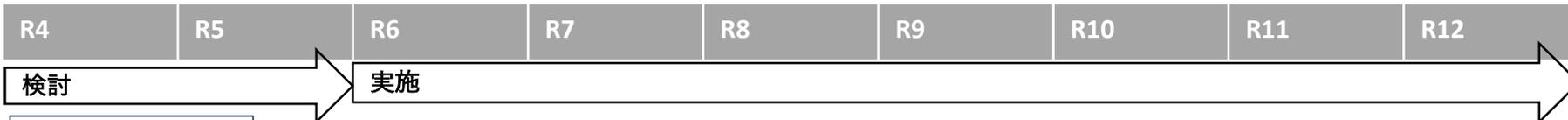
・沼津にキャンパスを置く東都大学についても設置を行う運びとなっている。大学生を含めた、移動の足としての利用に期待できる。

# 施策シート

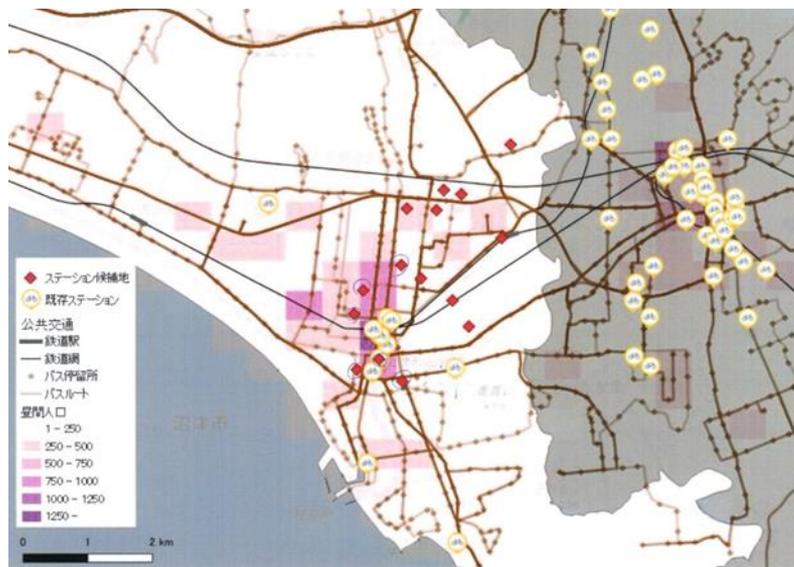
目標2. 移動の利便性向上による自動車への過度な依存の低減

Ⅲ. 良好な都市環境の形成プロジェクト

措置	17. 公共用地・民地・鉄道駅等へのシェアサイクルやレンタサイクルポートとの設置検討
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共用地を活用したシェアサイクルやレンタサイクルの設置を促進するため、公共施設の用地や都市再生特別措置法の占用特例を活用した、都市公園や道路上への設置を検討します。</li> <li>公共交通機関との連携を図るため、鉄道事業者等に駅周辺へのシェアサイクルやレンタサイクルポート設置について協力に関する働きかけを実施します。</li> </ul>
実施主体	市担当課：まちづくり政策課



## R5取組



・令和5年度においても事業者と引き続き協力し、移動や利用分析データに基づいたポートの再配置等の検討

・特に設置の少ない沼津駅北側への展開を検討



# 施策シート

目標2. 移動の利便性向上による自動車への過度な依存の低減

Ⅲ. 良好な都市環境の形成プロジェクト

措置	18. 駐輪場の運営管理及び放置禁止区域の見直し
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営の駐輪場は無料で利用することができ、市内では無秩序な放置自転車はほとんど確認されません。今後も安全に安心して利用できる駐輪場の維持のため、包括的なマネジメントを行います。</li> <li>・また、自転車の回遊性を確保するため、放置禁止区域は柔軟に見直します。</li> <li>・都市景観を損なわず、ウォークアブルなまちに資する沼津市中心市街地まちづくり戦略と連携した道路空間での駐輪の在り方を検討します。</li> </ul>
実施主体	市担当課：まちづくり政策課

R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

実施

## R4実績

・JR沼津駅、片浜駅、原駅、大岡駅周辺の全11箇所、自転車の収容台数合計約5,000台の市営駐輪場を無料で終日利用できるよう運営管理を行うとともに、安全に安心して利用できる駐輪場を維持するため、古くなった防犯カメラ監視設備の更新などを実施。

## R5取組内容

・原駅自転車等駐車場の拡幅工事の実施  
 ・原駅自転車等駐車場の防犯カメラ更新  
 (自転車収容台数535台)



**R4 大手町・添地自転車等駐車場の防犯カメラ更新**  
 (自転車収容台数  
 1,065台)

施策シート

目標2. 移動の利便性向上による自動車への過度な依存の低減  
Ⅲ. 良好な都市環境の形成プロジェクト

目標3. 自転車の活用による健康の増進  
Ⅴ. おでかけサイクリングプロジェクト

措置	19. 市民に対するエコ通勤の呼びかけや事業者における自転車通勤制度導入に向けた働きかけ
事業内容	市民に対し、環境にやさしく健康に良い「自転車」の魅力を、facebook[エコのまち沼津]などを使って広報します。エコ通勤のメリットを広報し、実践を呼びかけます。 ・事業者に対し、エコ通勤の推進に役立つ自転車通勤導入制度等の情報を紹介します。自転車通勤制度等の導入により企業価値を向上させるといった事業者にとっての取り組みのメリットを広報します。
実施主体	市担当課：環境政策課、まちづくり政策課

R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

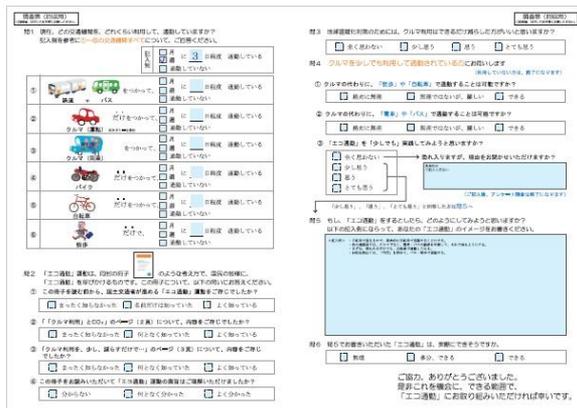


R4実績

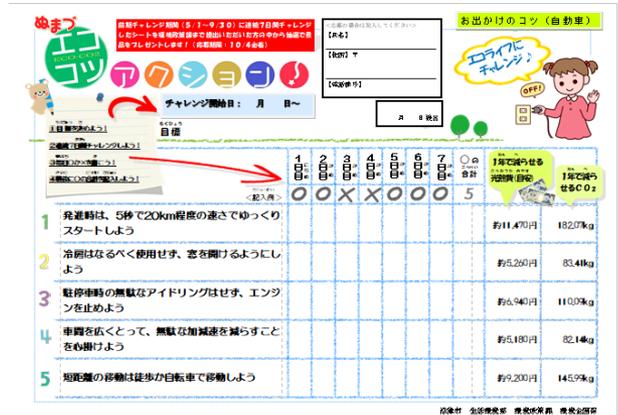
企業向け情報メールを活用し、「エコドライブ活動コンクール」の紹介や、エコ通勤を始めるきっかけづくりに役立つ「アンケート用紙」の紹介を行った。



(出典：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)



(出典：エコ通勤ポータルサイト)



(出典：ぬまづエココツ (ECO-CO2) アクションおでかけのコツ)

ぬまづエコアクションと題し、チェックシートを活用した7日間のエコ生活へのチャレンジを通じて、市民に対し、自動車から自転車への転換等を提案し、実践を呼び掛けた。令和4年度は291人・308件の参加があり、Co2約577kgの削減(500mlパペット約57.7万本分の体積に相当)に繋がった。

施策シート

目標2. 移動の利便性向上による自動車への過度な依存の低減

目標3. 自転車の活用による健康の増進

Ⅲ. 良好な都市環境の形成プロジェクト

Ⅴ. おでかけサイクリングプロジェクト

措置	19. 市民に対するエコ通勤の呼びかけや事業者における自転車通勤制度導入に向けた働きかけ
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民に対し、環境にやさしく健康に良い「自転車」の魅力を、facebook[エコのまち沼津]などを使って広報します。エコ通勤のメリットを広報し、実践を呼び掛けます。</li> <li>事業者に対し、エコ通勤の推進に役立つ自転車通勤導入制度等の情報を紹介します。自転車通勤制度等の導入により企業価値を向上させるといった事業者にとっての取り組みのメリットを広報します。</li> </ul>
実施主体	市担当課：環境政策課、まちづくり政策課

R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

実施 ➔

R 5 取組内容



企業向け情報メール等を活用し、「エコ通勤優良事業所認定制度」の紹介・普及に努める。

Facebook「エコのまち沼津」や、7日間のエコ生活にチャレンジする「エココツアクション」の取り組みを活用し、自動車から徒歩や自転車への移動手段の転換の啓発。

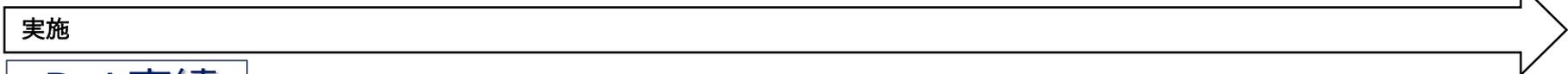
(出典：公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団)

# 施策シート

目標2. 移動の利便性向上による自動車への過度な依存の低減  
 Ⅲ. 良好な都市環境の形成プロジェクト

措置	20. 市役所職員の近隣公務における公用自転車の利用促進
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所職員の市内近距離移動手段として、公用自動車の代わりに活用するもので、CO2の排出削減と職員のエコ意識の向上を目的とするために、配備されている公用自転車を活用し、積極的な利用を促進します。</li> <li>具体的な利用促進に関する仕組みは、移動のルールの設定なども考慮して、今後検討します。</li> </ul>
実施主体	市担当課：資産活用課

R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



## R4実績

表：公用自転車の使用状況（年度）

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3	稼働日数	21	19	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	243
	使用回数	180	156	157	107	111	88	144	131	143	99	112	115	1,543
R4	稼働日数	20	19	22	20	22	20	20	20	20	18	-	-	201
	使用回数	100	117	135	117	98	96	132	157	100	83	-	-	1,133

・使用状況について、大きく使用回数が減少した4月及び5月は天候（雨）により影響を受けたものと思われ、また、12月は新型コロナウイルス感染者数増加のため、人との対面を極力控える仕事環境により、外出する機会も減少したと考えられ、その結果、令和4年度（1月末現在）の1日当たりの公用自転車の平均利用回数は5.64回であり、令和3年度の6.35回に対し、減少傾向となっている。

## R5取組内容

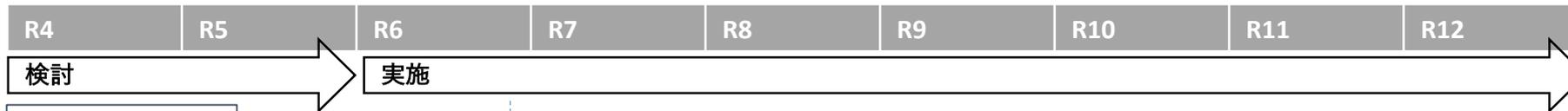
・市役所職員の外出公務について、改めて本取組みの目的であるCO2の排出削減や職員のエコ意識の向上を図るため、職員宛てに公用自転車の積極的な利用促進の周知等に努めていくものとする。（特に第一から第五校区での近隣地域における公務など）

施策シート

目標2. 移動の利便性向上による自動車への過度な依存の低減

Ⅲ. 良好な都市環境の形成プロジェクト

措置	22. 沼津市中心市街地まちづくり戦略と連動した自転車通行空間の検討と駐輪場の配置検討
事業内容	・沼津市中心市街地まちづくり戦略に位置付けた戦略や方策の進捗と連携し、中心市街地の自転車通行空間の在り方と駐輪場の配置を検討します。
実施主体	市担当課：まちづくり政策課、建設デザイン調整室



R4実績

まちづくり戦略に位置付けられた「戦略Ⅰ：ヒト中心の公共空間の創出」に基づき、本市が取り組む中期までの公共空間再編に関する具体的なアクションプランとして、駅前広場や駅前街路の再編整備イメージやまちづくりシナリオ等を示す「沼津市公共空間再編整備計画」を策定した。



(都)三枚橋錦町線の再編イメージ



・安全で充実した歩行者空間の確保やサイクルツーリズム促進等の観点から自転車専用通行帯を設置する方針を定めた。

(都)沼津駅沼津港線の再編イメージ



・自転車専用通行帯の設置等の詳細な整備手法については、次世代モビリティの導入や、実証実験を重ねている自動運転の実装化等の技術革新の動向を注視しつつ、荷捌きスペースやバス乗降場を設けた際のこれらの車両や利用者と、自転車との錯綜に対する安全の確保等の観点にも十分に留意し、関係機関と協議・調整を行いながら決定していく方針。

・通行帯の表示等の設えは、まちなみ景観に配慮した色・形態とする。

施策シート

目標2. 移動の利便性向上による自動車への過度な依存の低減

Ⅲ. 良好な都市環境の形成プロジェクト

措置	23.移動が楽しめる新たなモビリティツールの活用検討
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの賑わい創出や地域公共交通の課題解決など、将来を見据えた、多様な交通手段による中心市街地と周辺地域資源の回遊ネットワークの充実を図るため、自転車通行空間等における新技術等を駆使したスローな移動手段の活用を検証するなど、新しい移動手段の在り方を検討します。</li> <li>・リノベーションまちづくりと連携した取り組みを検討し、今ある資源や公共空間を活かしながら、公民連携による新たなモビリティツールの活用を検討します。</li> </ul>
実施主体	市担当課：まちづくり政策課、建設デザイン調整室

R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

実施

R4実績



9月17日から10月16日までの1ヶ月間、経済産業省の特例制度を活用し、沼津駅-沼津港間における電動キックボードを使った社会実験を実施。

【検証】

- ・交通結節点や拠点施設などからの新技術を駆使したスローな移動手段の活用性。
- ・移動データ、アンケートなどからデータを取得・分析をし、快適な移動手段となりえるかといった実用性。

【結果および考察】

- ・車体のGPSデータより、沼津駅や沼津港のみならず周辺の地域資源に立ち寄る利用もあり、**市内の回遊性向上に寄与。**
- ・利用者へのアンケートの結果、約6割以上の利用者が移動そのものを魅力と捉えた一方、約3割以上が利用時に危険を感じたことから、**利便性の高い移動手段であるものの、安全面の課題解消が必要。**

沼津市自転車活用推進計画の指標・目標値および実績・考察

目標2 移動の利便性向上による  
過度な自動車への依存の低減

No	指標	目標値	実績と考察	参考
5	●各交通手段の利用割合	<p>●平日の主な交通手段の利用割合</p> <p>【自動車】 R1 : 69.6% →R7 : 72.2% →R12 : 69.6%</p> <p>【鉄道・バス】 R1 : 21.6% →R7 : 24.3% →R12 : 27.0%</p> <p>【自転車】 R1 : 19.2% →R7 : 25.6% →R12 : 32.0%</p>	<p>●平日の主な交通手段の利用割合</p> <p>R4【自動車】 : 80.7% (基準年度比 11.1%増)</p> <p>R4【鉄道・バス】 : 14.1% (基準年度比 7.5%減)</p> <p>R4【自転車】 : 14.9% (基準年度比 4.3%減)</p> <p>【考察】 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、自動車での移動が増加し11.1%の増となった一方で、公共交通の鉄道・バスでの移動が7.5%の減となった。自転車での移動は増加すると思われたが、基準年度比4.3%減となった。市民アンケート結果の集計結果を分析したところ、20代の自転車利用が大きく減少をしていることが分かった。</p>	<p>●平日の主な交通手段の利用割合</p> <p>R3【自動車】 : 74.3% (基準年度比 4.7%増)</p> <p>R3【鉄道・バス】 : 14.1% (基準年度比 7.5%減)</p> <p>R3【自転車】 : 15.6% (基準年度比3.6%減)</p>
6	○市内のサイクル&バスライド用駐輪場の延べ数	<p>○箇所</p> <p>R1 : 1 箇所 →R7 : 6 箇所 →R12 : 11 箇所</p>	<p>○箇所</p> <p>R3 : 1 箇所 (基準年度比 変更無)</p> <p>【考察】 ・サイクル&amp;バスライド用駐輪場に向けて、バス事業者ヒアリングやアンケートを実施したが、選定に至らなかった。市民等が必要としている場所の選定について、引き続き検討する</p>	<p>○整備延長</p> <p>R2 : 1 箇所 (基準年度比 変更無)</p>

●アウトカム指標・・・成果指標。施策の実施によりもたらされた成果。○アウトプット指標・・・活動指標。実施した施策の結果。